

2 1世紀の日本のかたち（25）

生活とかたち—日本文化の原型



戸沼幸市
〈(財)日本開発構想研究所 理事長〉

1. 2009年から2010年へ、大晦日と元旦の風景

平成21年大晦日の夜は自宅の居間で少々の酒と煮物などをつまみながらNHK紅白歌合戦を見て過ごしました。09年の紅白歌合戦は60回目とか、近年日本の不況ムードを「歌の力」で吹き飛ばそうと賑やかなものでした。紅白交互の歌手たちの熱唱、若い歌手達は舞台一杯に歌い踊り跳ね回っておりました。極彩色のカクテル光線の中、秒刻みに場面が展開していく舞台廻しには驚かされました。まるで時間の折詰—分秒の仕切りにこれでもかと詰め込まれた歌と音楽、おどりやらの箱詰め弁当さながらでした。ゲーム仕立ての歌合戦も演歌、J-POPとごった煮で、賑やかではあるが、年末の派遣切りや多くの自殺者のことが頭を横切り、少し空疎でもあるなど感じたりして、あちこちチャンネルを廻していると、TBSは格闘技史上最大の祭典と銘うった元柔道金メダリストの二人が柔道着を脱ぎ捨てて無手勝流で闘っておりました。スポーツも見世物風になり、かたちが変形してゆくようです。

多チャンネルを一回りして紅白歌合戦に戻すと、トリ、大トリに近づいておりました。NHKの演出する日本の歌の力の焦点、大トリは北島三郎の「まつり」でした。

男は祭りを そうさ かついで生きてきた／……
／山の神 海の神 今年も本当にありがとう／……
／祭りだ 祭りだ 祭りだ 豊年祭り／……／これが日本の祭りだよ

小柄な体を和服に包み元気一杯の北島三郎の「まつり」には日本の原風景がもつ土着の匂いがあり、これぞ日本の歌の根っ子にちがいないありません。

紅白のあと、テレビは雪の混じった日本各地の神社や寺院での初詣の画像を流して、2010年の元旦を告げました。私の住まいの近くの寺からも除夜の鐘、新年を告げる鐘が聞こえてきました。

元旦の朝は雑煮を食した後、まちの氏神様に出かけ、今年ハマわりも国も世界も問題山積だなど思いつつ「家内安全、世の商売繁盛」を祈りました。元旦早々、友人、知人からの賀状が届き、年に一度の賀状で、同年輩の友人の元気に一安心し、若い人たちの抱負に声援を送ったことでした。

2. 有限の中に多様な「かたち」を生み出す日本文化

古来日本人は一定の条件を逆手にとっていろいろな楽しみをつくり、生活を豊かにする「かたち」を創り出してきました。

例えば折り紙。これは一枚の方形の紙から手品のように様ざまなかたち—ツル、ハト、ウサギ、ヤッコ、オヒナサマとどんな動物、人物でも巧みにかたちにしてしまうのです。決まった素材を多様に表現するとは造形の基本です。

囲碁も有限の中に無限を持ち込んだ面白いゲームです。19路のメッシュのある方形の碁盤に二人（もしくは二組）の対局者が白・黒の石を交互に置いて、彼我、囲った「地」の大きさを競い合うゲームです。そして碁石と盤があれば何度でも楽しめるのです。「定石」といわれるいくつかの基本型はあるのですが、 $19 \times 19 = 361$ の交点に石を置いて出来上がった図はどれも同じものがないのです。無限といっていよいよの無数の図柄になるのです。これを名人、上手が打てば緊張感のある引き締まった名局になり、下手同志ではしまりのないだらしないものになってしまうのです。囲碁の発祥は中国と考えられており、古来、日本人の中に根付き多くの人が愛好しているゲームです。

日本人の衣、食、住の生活の中にも有限の中の多様なかたちづくりがあります。

その一つ、折り詰め弁当は日本人の食生活の豊かな「かたち」表現です。仕切を持った方形の箱に詰められた色とりどりのおせち料理は正月をことのほか楽しいものにしてくれるのです。折り詰めの駅弁は、蒲鉾、卵焼き、魚の食材だけで実に700種類にもなるらしいのです。

日本の和服、着物はひと巾の布、反物から実に多様なかたちを創出し、人体を柔らかく包んでくれます。和服には性、身長、体格の差も自在に調節して衣服とし、そして再生の容易な日本の衣文化の原型があります。人体寸法にぴったり近づけ布を切り刻んでつくる洋服との差です。

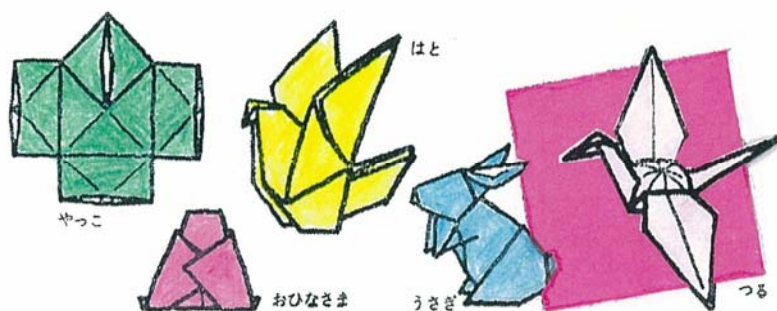
住生活についても工夫がありました。和風住宅はもともとは地域の材料、木材や土、石を用いて、その土地の気候風土に合わせ、夏は涼しく冬は暖かくエコ住宅としてつくられたものでした。このやり方は結果として土地土地に固有の景観をもたらすことになったのでした。これが近現代、住まいのかたちを地中深くから取り出した石油や建築材料でがらがらの堅いものにしてしまったのです。

さて、地球温暖化問題が21世紀前半の世界の大問題となり、有限な地球の中で人類が、日本人がいかにかつて生きるか問われることになりました。

欲望をむき出しにし、資源を食い散らす近現代の生活様式、肥大と歪み、時として破綻の現れている生活のかたちをいかに調和あるものにするかが求められています。

日本は美しい風土を持ち、日本人は形に対して敏感な才能を持っています。2010年、この才能を時代状況の中で活用すべき時と考えます。

(2010.01.15)



有限の中の多様—ひとつの正方形から様ざまな形をうむ日本の折り紙